別紙③

令和5年度　予算に関する改善案

1、目的

① PTAは任意加入の団体で今後は分母が不安定となることが予想されるため、必要最低限の予算にする
② 項目や支出内容をわかりやすくし、透明性を持たせる
③ 予算があることで発生している「余計な活動や支出」をなくすために、活動費はあらかじめすべてを支給するのではなく、必要に応じて支給する方式に転換する
④ 予算を取っていないものに関しては、運営委員会で申請してもらい、予備費から補正する
⑤ 先生方へのプレゼント代・お花代、保護者の飲食代には使わないことを前提とし、使途を明確にする

2、来年度より変更したい予算項目

※別紙②「令和4年度　第2次補正予算（案）」をご参照ください

項目	令和4年度 補正予算額	**令和5年度 提案額**	
印刷機維持費	100,000円	15,000円 (▲85,000円)	**「コピー機リース代」へ項目変更** 現在リース代は税抜9,600円 ※印刷機は故障の際は廃棄処分とし、新規購入はしない →メール配信の活用、コピー機・学校の印刷機で代用。
消耗品費	70,000円	50,000円 (▲20,000円)	印刷機・コピー機・プリンターのトナー・インク・マスターは来年度分は十分在庫があり、事務用品、USBなどの予算を見積もれば十分と判断 ※来年度、制服リサイクル品を保管するパイプハンガーを購入してもらう予定
備品費	50,000円	項目削除 (▲50,000円)	パソコンやプリンターなど電子機器の購入が必要な場合は、印刷機購入積立金より支出とする **※来年度から「印刷機購入積立金」を「電子機器等購入積立金」に項目変更**
弔慰金	20,000円	項目削除 (▲20,000円)	小平市より支給があること、また、PTAから支給する場合に知り得てしまう個人情報の問題から**項目削除** **※細則の「第３条弔慰規定」も削除**
通信費	60,000円	10,000円 (▲50,000円)	本部役員・委員の活動縮小に伴い減額 本部1,000円×7名、委員長500円×6名
(項目追加) 銀行手数料	なし	5,000円 (+5,000円)	**「銀行手数料」として項目追加** 振り込み手数料に加えて、入出金の際に手数料がかかるようになったため、予算を組みやすくするため項目を追加
防災用品費	100,000円	項目削除 (▲100,000円)	**項目削除** （詳細は下記※1参照）
本部活動費	20,000円	項目削除 (▲20,000円)	過去の実績より**項目削除** （今後使用も見込まれない） ※交通費は必要であれば渉外費から支出

別紙③

1学年委員会	30,000円	30,000円 (▲141,000円)	**<u>「学年委員会」に項目変更</u>** 活動にお金が必要となった場合、運営委員会にて申請してもらい支給とする（予算額以上の支出が見込まれる場合は、補正予算を組んで予備費から計上） 事務用品は基本的にPTA室にあるものを使ってもらい、なければ本部で購入し消耗品費から支出 (急ぎの場合は委員さんに立て替えて購入してもらう) 卒業記念品代については、コロナ禍の会費過徴収分充当として以下のように対応 ・令和4年度＝3学年委員の活動費を30,000円→89,000円に予算を補正して支給（補正額59,000円は予備費より計上）※第2回運営委員会にて承認済み ・令和5年度＝繰越金から100,000円を計上（3学年委員としての活動ではなく、本部で一括手配）
2学年委員会	30,000円		
3学年委員会	89,000円		
G組委員会	22,000円		
広報委員会	250,000円	0円 (▲250,000円)	**<u>活動休止のため予算なし</u>** ※なお、立候補者が定数出た場合は予算の再検討が必要で PTA会費の値上げもあり得る （詳細は別紙①「委員選出に関する提案」参照）
給食委員会	15,000円	0円 (▲15,000円)	**<u>活動休止のため予算なし</u>** （詳細は別紙①「委員選出に関する提案」参照）
役員選出管理委員会	5,000円	<u>項目削除</u> (▲5,000円)	事務用品に関しては学年委員と同じ （互選会の飲み物は各自持参してもらうようアナウンス）
地域委員会	24,000円	15,000円 (▲9,000円)	過去の実績より予算削減
卓球サークル	5,000円	1,500円 (▲3,500円)	今までは活動費5,000円とは別に、渉外費から大会参加費を支給していたが、来年度からは大会参加費のみの支給とする（令和4年度の額で計算） ※参加費が上がるようであれば申請してもらう ※他に必要なものがあれば運営委員会にて申請してもらう
バレーサークル	5,000円	4,000円 (▲1,000円)	
部活動支援金	150,000円	<u>項目削除</u> (▲150,000円)	部活動は全員加入ではなく、全生徒へ平等に分配されていないため**<u>項目削除</u>** また、他校で支援しているところも見受けられない
分担金	20,000円	<u>項目削除</u> (▲20,000円)	中P連組織改正で今後は分担金を徴収しないため**<u>項目削除</u>**
行事費	30,000円	<u>項目削除</u> (▲30,000円)	市内親睦行事の開催実績がないため**<u>項目削除</u>**
渉外費	20,000円	8,000円 (▲12,000円)	卓球、バレーの大会参加費はサークル費に組み込む 青少対協力金や渉外活動に伴う交通費として計上
生徒活動支援金	30,000円	<u>項目削除</u> (▲30,000円)	**<u>項目削除</u>** （詳細は下記※2参照）
(特別費として項目追加) 学校協力金	なし	260,000円 (＋260,000円)	学校より子どもたちの熱中症予防のために、と依頼のあった集会用テント×2張の購入代として計上 年末に学校から会員にアンケートを取った結果、多数賛同をいただいたため繰越金から購入の予定（※第2回運営委員会にて承認済み。来年度の定期総会にて正式に提議予定）
(特別費として項目追加) 卒業記念品代	なし	100,000円 (＋100,000円)	コロナ禍の会費過徴収分充当としての対応(令和5年度まで)で繰越金より計上 ※図書カード500円×200名分としての見積

別紙③

★補足説明★

※1）防災用品費について

東日本大震災をきっかけに帰宅困難者が出た場合に備え、PTAで防災用品の購入を始めたようです。
現在は入学時に生徒1人につき、ペットボトルの水を1本、ミニクラッカー、マスク1枚を購入しており、使用しなかった場合は卒業時に配布をしています。
しかし、今後は分母が不安定になることが予想されるうえ、物価は年々上昇傾向にあるため、PTAにて生徒全員分を用意するのは負担が大きくなる旨を校長先生へ相談したところ、普段から徒歩通学している生徒が帰宅困難となる状況があまり考えられないこと、万が一何かあったとしても学校にある備蓄品で対応できること、小平市からも支給されること、また昨今の防災意識からほとんどのご家庭が備えていることを踏まえると、今後はPTAで用意をする必要性はないとの判断に至りました。

※2）生徒活動支援金について

今までは職場体験の際に、徒歩はもちろん電車で通えるところはさほど交通費がかかりませんが、バスで移動する場所は多額の交通費がかかっていたため、ある一定の額を超えた分に対してPTAから補助をしていたようです。
しかし、そもそも職場体験は学校の授業の一環であり、任意加入の団体で分母が不安定なPTAが補助をする必要があるのか学校側へ相談をしました。さらに、こちらからの提案として、校外学習等の雑費と同じように各家庭から同一の額を徴収する方法を学校側へ提案しましたが、体験場所を選んだのは生徒それぞれで、徒歩で通った生徒のご家庭からも同様に徴収するのは理にかなっていないとのことから、各自の負担とし、PTAからの補助も行わないとの判断に至りました。

以上のことを踏まえ、別紙④「令和5年度　小平二中PTA　予算(案)」を作成いたしました。
ご確認のほど、よろしくお願いいたします。